

2020年5月15日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

**廃棄物からの有価金属の回収技術 特許総合力  
トップ3は住友金属鉱山、JX 金属、田中貴金属**

弊社はこのほど、2020年4月30日までに日本の特許庁で公開された「廃棄物からの有価金属の回収技術」について、特許分析ツール「Biz Cruncher」を用いて参入企業に関する調査結果をまとめ、レポートの販売を開始しました。

有価金属はリチウムイオン電池などの廃棄物中に多く含まれ、鉱物資源に乏しい我が国にとって、回収技術が欠かせないものとなっています。今調査では日本の特許庁で公開されている「廃棄物からの有価金属の回収技術」全般について、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」をベースに、特許の質と量から総合的に見た評価を行いました。

集計をした結果、「総合力ランキング（注1）」は、1位 住友金属鉱山、2位 JX 金属、3位 田中貴金属工業となりました（表1、図1）。

【廃棄物からの有価金属の回収技術 特許総合力トップ5】

表1

順位	企業名	総合力 (権利者スコア)	有効特許件数	個別力 (最高スコア)
1	住友金属鉱山	518.8	144	82.5
2	JX 金属	504.1	136	72.1
3	田中貴金属工業	151.3	27	70.4
4	三菱マテリアル	147.6	46	64.8
5	DOWA エコシステム	143.5	34	72.4

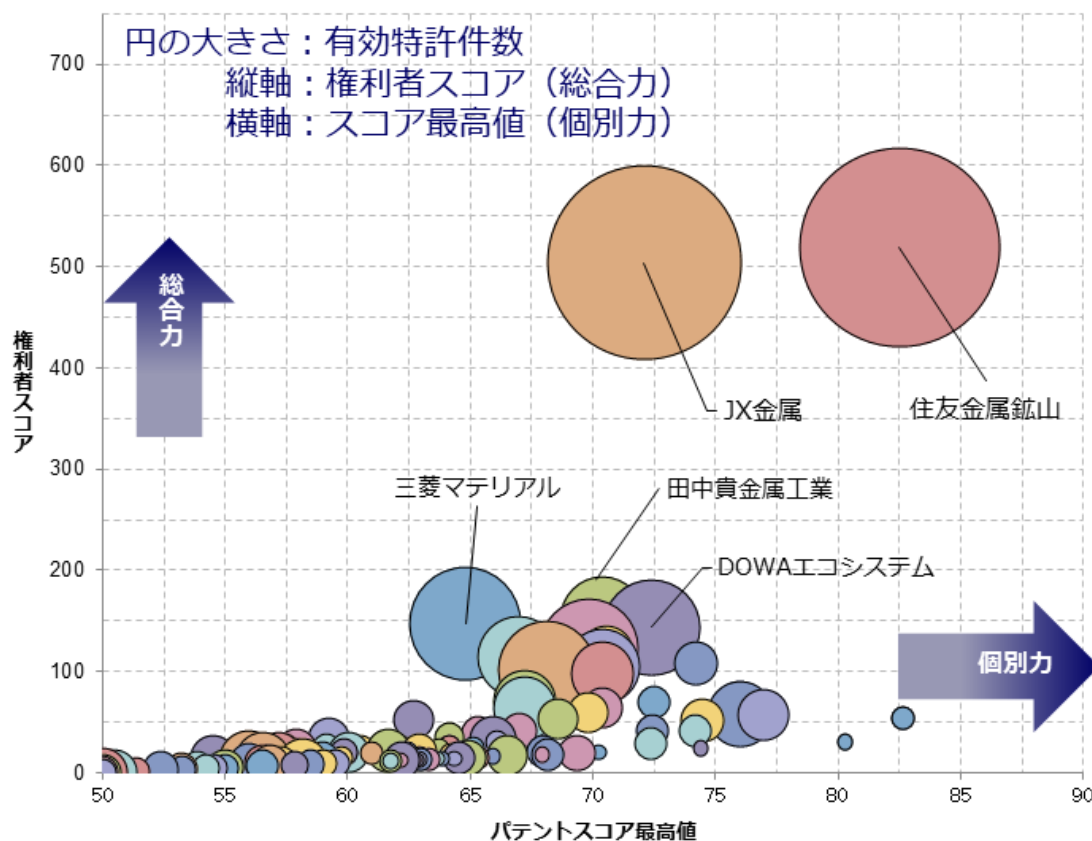
1位 住友金属鉱山の注目度の高い特許には、「廃リチウムイオン電池からの有価金属の回収方法」や「白金族元素の分離回収方法」などが挙げられます。

2位 JX 金属の注目度の高い特許には、「リチウムイオン電池スクラップの浸出方法及び、有価金属の回収方法」や「ITO スクラップからの有価金属の回収方法」などが挙げられます。

3位 田中貴金属工業は「白金族元素の回収装置」「貴金属吸着用活性炭並びに貴金属吸着フィルター及び貴金属回収方法」などが注目度の高い特許として挙げられます。

4位 三菱マテリアルは「コバルト・ニッケルの浸出方法」などが、5位 DOWA エコシステムは「焼却灰からの貴金属回収方法」などが注目度の高い特許として挙げられます。

6位以下には日本冶金工業、九州大学などがランクインしています。



本分析の詳細につきましては、特許・技術調査レポートの「廃棄物からの有価金属の回収技術」にてご覧いただけます。

（注 1）総合力の評価では、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」を機関ごとに集計し、パテントスコアが 50 点以上のものを合算しています。50 点以上のものだけを集計している理由は、パテントスコアが低くても特許件数が多いことによって総合力が上がってしまうことを防ぐためです

#### 【調査対象の特許群について】

1993 年から 2020 年 4 月 30 日までに発行された特許が対象。公開、登録、公表、再公表のすべてが対象で、登録と、公開・公表・再公表が重複している場合は、登録を優先しています。企業等は権利者ベースで集計しています。

## 【価格】

内 容		価 格 (税 抜)	納 期
特許・技術調査レポート		10万円	5営業日
個別企業分析 (レポート追加オプション)	1～5社まで (社数に関わらず同一価格)	+ 20万円	+ 5営業日
	6社目以降、1社当たり	+ 4万円	+ 1営業日

- ※個別企業分析の対象企業は、特許総合力上位企業または任意にご指定可能です。  
※レポートは弊社データベースにおける最新の収録範囲に基づき作成致します。そのため、ご発注のタイミングによっては上記ランキングと順位、値が異なる可能性があります。

## 【納品形態】

冊子 1 冊。CD-ROM にレポートの PDF、分析に使った特許リスト (Excel ファイル) を収録。レポートの収録内容およびサンプルは下記のリンク先をご参照ください。

<https://www.patentresult.co.jp/report/index.html>

## &lt;&lt; 本件に関するお問い合わせ先 &gt;&gt;

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

Tel : 03-5802-6580、Fax : 03-5802-8271

ホームページ URL : <https://www.patentresult.co.jp/>